

特集 ① 北陸新幹線の開業対策

「きときと富山」 「きときと富山」

北陸新幹線の開業に向けて

約2年後に迫った北陸新幹線の開業。県では北陸新幹線の開業に向けて、その効果が最大限に高まるよう、県民総ぐるみの取組みを進めていきます。

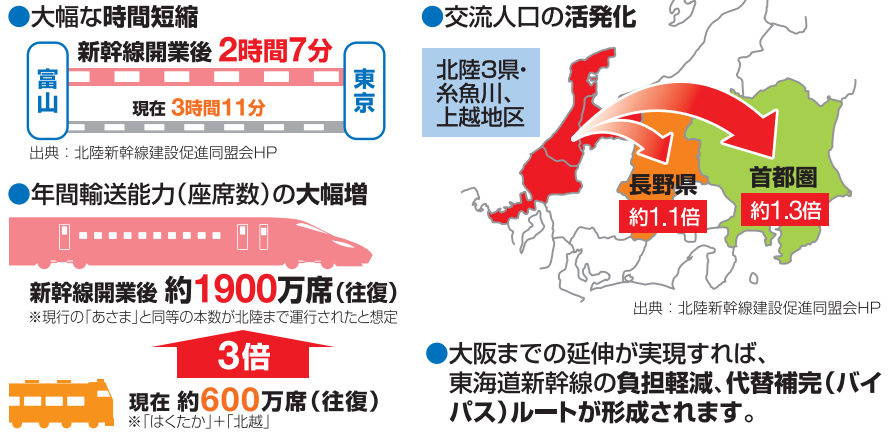


北陸新幹線の開業効果

約2年後の平成26年度末、いよいよ北陸新幹線が開業（長野ー金沢間）します。富山ー東京間が最速で2時間余りでつながり、ビジネス交流や観光振興による経済の活性化、地域間交流の活発化など、富山県が大きく発展する絶好のチャンスです。

一方で、地域間競争の激化やストロー効果が懸念されますが、そうしたマイナス面を克服して、プラスの効果をしっかり引き出し、開業効果を最大限に高めることが大切です。

新幹線開業に伴い期待される主な効果



新幹線戦略とやま 県民会議の設置

そこで、県では昨年5月に「新幹線戦略とやま県民会議」を創設しました。さらに、県民会議のもとに2つのプロジェクトチームと3つの地域会議を設置し、観光地の連携、二次交通の充実、食の魅力を活かした賑わいづくりなど、地域の特性を活かしたさまざまな取組みを検討しています。

2年後の開業に向けて

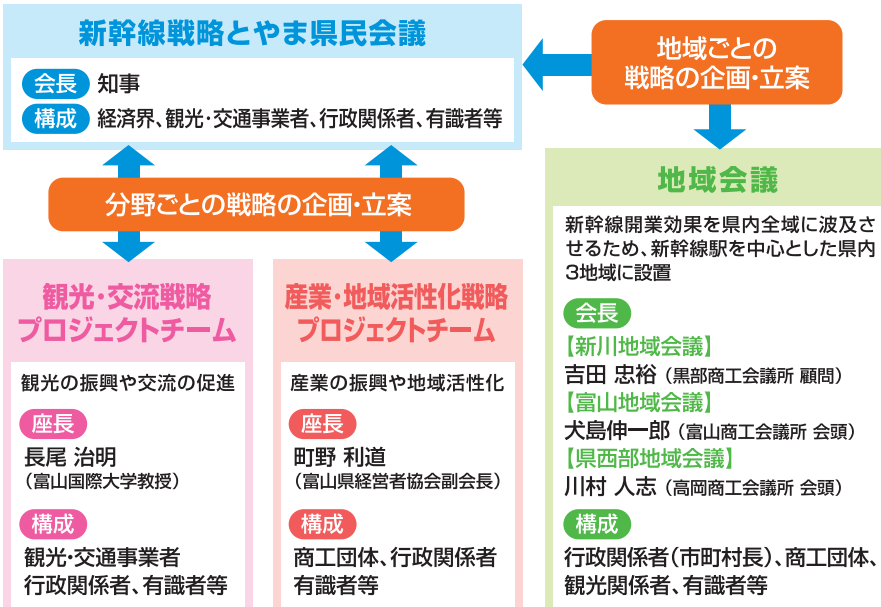
県では、平成25年度の予算編成にあたり「新幹線開業対策」を設けるなど、開業効果

新幹線開業に向けた主な取組み

- 北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり
 - 平成26年度末までの長野ー金沢間開業の一日も早い実現に向けた整備
 - 金沢ー敦賀間の早期開業、大阪までの全線整備の促進

【県内工事の進捗状況】
※高架橋などの土木構造物は完成し、現在レール等の工事を実施。
※昨年5月に新黒部駅(仮称)、9月に新高岡駅(仮称)、11月には富山駅の建築工事に着工。

 - 駅舎や駅前広場など魅力ある新幹線駅とその周辺地域の整備促進
 - 新幹線駅と並行在来線を含めた鉄道やバスなどの乗継ぎの円滑化
- 官民一体となった開業対策の推進
 - 「新幹線戦略とやま県民会議」の設置
 - キャッチフレーズやホームページなどを活用した効果的なPR



を最大限に高めるための事業に最優先で取り組みます。

また、元氣とやまマスコット「きときと君」と昨年決定したキャッチフレーズ・ロゴデザインをさまざまなPR活動に活用して、北陸新幹線開業を積極的に県内外へアピールしていきます。

さらに、今年1月から3月に県内3箇所で開催する開業2年前イベント(※)では、新幹線開業と、開業に向けて進められているさまざまな取組みを多くの皆さんに紹介し、各地域のさらなる活性化や機運の盛り上がりにつなげていきます。

※4ページにイベントの関連記事

北陸新幹線「富山県」開業 キャッチフレーズ・ロゴデザイン



2015年春 北陸新幹線開業

【キャッチフレーズ】
全国からの6,800件を超える応募の中から「きてきて富山 きときと富山」に決定

【ロゴデザインのコンセプト】
黒以外の2色は、銅器や象嵌をイメージする銅色と、北陸に広がる空をイメージする青色で、北陸新幹線の車両のカラーにそえました。

● 北陸新幹線開業の最新情報は、下記のホームページで紹介中。きときと君日記も!
<http://www.toyama-shinkansen.jp/>

北陸新幹線「富山県」もうすぐ開業!!

検索



このページのお問合せは ▶ 県知事政策局新幹線開業対策担当 ☎076-444-4056 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1002